

## 学術フォーラムの概要について（事後報告）

- 1 名称：コロナ禍を共に生きる#7 新型コロナウイルス感染症のレジストリ研究の現状と今後の方向性 医療情報の収集と活用による対策について
- 2 日本学術会議以外の共同主催団体等：  
共 催：日本学術会議、日本医学会連合  
後 援：日本生命科学アカデミー
- 3 開催日時：令和4年5月28日（土）13:30～16:35
- 4 開催場所：オンライン
- 5 開催趣旨：  
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、様々な医学的・社会的な課題を引き起こしております。これらの課題に適切に対応するには、医療機関を受診された患者さんの情報を収集して解析したレジストリの結果に基づくことが重要です。本学術フォーラムでは、レジストリとは何か、収集された医学情報管理はどの様になっているかに触れながら、我が国で進められている、COVID-19 に関するレジストリの状況や成果、課題と今後の方向性を含めて分かりやすくお話しいただき、皆様と広く共有したいと考えております。
- 6 参加人数：  
講演者等：11名  
その他の参加者：最大同時視聴者数105名
- 7 特記事項：  
本フォーラムの成果は、「パンデミックと社会に関する連絡会議：平時、緊急時の臨床、疫学、基礎研究の体制」ワーキンググループの審議活動（意見の表出）に反映される。